

無断転載禁止

土木技術者女性の会

輪人

2010 年 夏号

土木技術者女性の会

<会の目的 >

1. 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい。
2. 土木界で働く女性技術者同士の知識の向上。
3. 女性にとって魅力ある、働きやすい土木界の環境作り。
4. 女性土木技術者の社会的評価の向上。
5. 土木技術者をめざす女性へのアドバイス。

<倫理規程 >

会員は、会の目的を実現する際にあたって、下記の倫理規程を遵守するものとする。

1. 会員は、会の目的に沿って、各々の良識のもとに、正しく品位ある行動をする。
2. 会員は、所属組織を代表するものではなく個人の立場で会の活動に参加する。
3. 会員は、会の活動において、業務上の利益に結びつけるいかなる行動も行わない。



目次

巻頭言

あたりまえのこととは？ ～ Live every day as though it were last. ～

副会長 松本香澄	1
第29回土木技術者女性の会 総会報告	2
総会議事録 関西地区 西 育美	3
総会見学会 関西地区 大原 真由美	10
大阪の第3極 “天王寺・阿倍野” に行ってきました 北海道地区 伊藤優子	11
第29回 土木技術者女性の会 総会 in 大阪 関東地区 島谷友理	12
参加者の感想 中部地区 中西 利美	15
総会に初めて参加された方の感想	17
土木技術者女性の会に初めて参加して 北海道地区 藤田 佳那子	17
女性の会に参加して 関東地区 市川智子	17
第29回総会に初めて参加して 関東地区 大久保優紀	18
逞しさ、しなやかさ、美しさ 関東地区 山田麻里	18
初めて総会に参加して 関西地区 勝田つかさ	19
「土木技術者女性の会 現場見学会に参加して」 関西地区 広野 彩	19
総会を終えて～さらに次へ 関西地区 三好 葉子	20
ホームページ運用WGの活動報告 WGリーダー 岩本理恵	22
企画 WG 活動報告企画 WG リーダー 牛山 育子	24
就職支援WG 平成21年度活動報告 WG リーダー 橋本麻未	28
坑内労働規制緩和 WG WG リーダー 須田久美子	30
第30回記念総会WG WG リーダー 須田久美子	31
第30回記念総会用パネル	
会の紹介パネル	34
顔がいっぱいパネル	35
第30回記念総会プレイベント 北海道地区勉強会のおしらせ	36
メールニュースより（2010年）	
2月号 リレーエッセイ：岩本 理恵 「私の好きな場所」	37
4月号 リレーエッセイ：須田 久美子 「現場の効用」	38
6月号 リレーエッセイ：福山 貴子 「私の好きな時間」	39
各種新聞・雑誌より	
月刊土木技術 2010年2月号～8月号	40
橋梁と基礎	47
編集後記 北海道地区編集 田原さゆり	48

所属、役職等は原稿執筆時のもの

あたりまえのこととは？

～ Live every day as though it were last. ～

副会長 松本香澄



日本語で言えば「一期一会」

もう少しフランクに訳すと「毎日を明日なきものとして生きよ」という意味、とのこと。

2週間前の土曜日、私は大阪市の中央公会堂でおこなわれた会の総会に出席した後、レストランでおいしいオムライスを食べていた。いつもながら、パワーのある素敵な仲間恵まれて、囲まれて、来年に控えた30回記念総会関連のさまざまな企画に胸を躍らせながら、何がお手伝いできるだろうとワクワクしていた自分がそこにいたのである。

今、私は病院のベッドの上でこの原稿を書いている。

大阪から、わいわいと仲間と一緒に東京に戻った一週間後、唯一の楽しみにしていたバドミントンでアキレス腱を断裂し、あっという間に入院し手術。ギブスをはめられ、身の回りのものまで届かなければとれない、という不自由な生活に突入してしまったのである。正岡子規ではないが、六尺の世界で天井をながめる生活。あたりまえのことが、ある日あるとき突然できなくなって、初めて、その重要性に気が付くことに、目からうろこが落ちる思いだった。

ふと目を転じると、土木の世界でもがいている我々（女性土木技術者）は、もしかしたら毎日そんな経験をしているのではないのだろうか。誰かがちょっと手を差し伸べれば解決することが、身の回りにたくさんあるのではないか。本当に活躍できる世界はもっともっと広いのではないか。

そのことに少し早く気づいた先人たちが、相互不介入のフレームを大事にしながら、将来的な社会貢献も視野に入れて、「土木技術者女性の会」を結成したのは、そういう流れだったのではないだろうか、という気がしてきた。

土木学会の呼びかけをきっかけにはじまった会ももうすぐ30年を迎えるという。それだけ継続させるには、個々の気持ちだけでは成立しないだろう。あふれんばかりの熱意と、（若干本業が心配になるほどの）ボランティア活動と、あとちょこちょことした外部からの刺激（マスコミ等か？）が我々の会をかくもきちんと成り立たせているのだろう。

いま、会は新しい一步を踏み出そうともがいている。ネット社会を利用した情報の相互通行や、経済基盤を背景にした組織体のあり方など。かたや、地方の会員は情報源が限られないよう気を配らねばならない。あれもこれも、と贅沢をいえばきりが無いが、それだけ、会員数がある程度安定し、会として組織の形を持っているからこそ、明日のことが語れるのではないか、という気がする。「助け合い」が不要になれば、会の存在意義も不要だ、という説もあるが、私個人は、相互扶助はいろんな形を変えてでもつなげていくべきではないか、と考えている。

そんなことを思いながら、改めて「土木技術者女性の会」の会則をながめながら、30回記念総会に向けて、みんなで何ができるか、ワクワクしながら考えている今日この頃である。

さて、会にとって、あたりまえのこととは？

そして、この輪が発行されているころ、私は両足で歩いているだろうか。

第29回土木技術者女性の会 総会報告

－ 開催日時 －

2010年6月25日(金)14:00～26日(土)12:00

－ 見学会 －

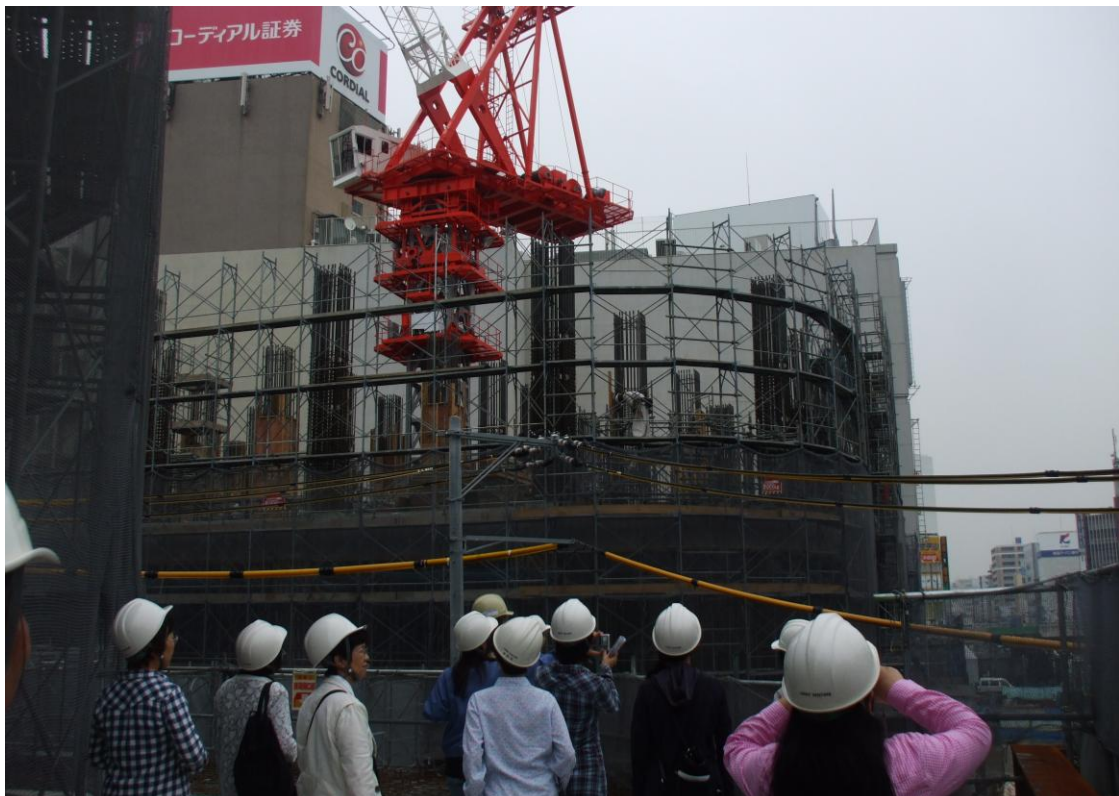
阿倍野地区第二種市街化再開発事業

－ 懇親会 －

がんこ道頓堀店

－ 総会 －

大阪市中央公会堂 第4会議室



第 29 回 土木技術者女性の会 総会議事録

関西地区 西 育美

2010 年 6 月 26 日（大阪中央公会堂 第 4 会議室）

1. 開会（三好関西地区世話役）

総会出席者 28 名 委任状 34 名 計 62 名

全会員数 145 名中 1/10 以上により総会成立

2. 会長挨拶（会長代理 島村副会長）

3. 平成 21 年度活動報告

3-1 役員会報告（龍）【承認】

(1) 第 28 回総会後役員会

・ 地区活動費の使途について

活動が活発な地区の地区活動を、予算（1 万円/年）が制約することにならないように、事前に各地区からの予算要求を受け、地区活動予算とする（1 万円を超えての活動は可能）。ただし、予算を超える場合は事前に役員会に意見を求める。

・ 輪の発行について

現在は電子データでの提供だが、以前のように紙ベースでの要望があるためアンケート等を行った。

→ 詳細は議事の 6. その他で報告

・ 会の PR チラシについて

PR チラシを作成した。

・ 年会費の自動引き落としについて

事務作業軽減のため、郵便振替に変更してもらえるようにメール等で呼びかけていく。

(2) 第 29 回総会前役員会

・ 地区活動費について

平成 23 年度より、各地区からの予算要求額を地区活動費とする。22 年度は 1 万円/年。

・ 会の掲示板（ネット上）について

会員が気軽に交流・相談可能な WEB 掲示板を作る提案があった。

→ 詳細は議事 6. その他で報告



3-2 事務局活動報告（龍）【承認】

(1) 会員動向について

資料は 4 月 1 日現在であり、6 月 29 日現在は北海道 2 名、関東 3 名が入会。申し込み済みで会費の入金待ちが 6 名いる。

(2) 会費について

- ・ 21 年度会費 未納者 25 名
- ・ 振替手続き登録者は 43 名 引き続き自動引落しをメール等で呼びかけていく。

3-3 第 28 回総会開催報告（代理報告：笹尾）【承認】

3-4 地区活動報告

3-4-1 北海道地区活動報告（田原）【承認】

・ 見学会について

今回外部の団体ツアーに参加してみた。一般の見学会であったが、内容の濃いものであった。今後も活用していきたい。

より多くの会員が参加できるように、勉強会をかねた宿泊研修も行った。多くの会員に参加してもらえた。今後も続けていきたい。

・ 会計報告

参加者から会費を徴収しているため、収入、支出とも 0 円となっている。

3-4-2 関東地区活動報告（北原）【承認】

・ 見学会

「ダムを見に行こう」には他地区からの参加もあった。

首都高速裏高尾橋工事は昨年度に引き続いて見学会を行った。

女子学生との交流及び講演会では約 50 名の参加があった。

3-4-3 中部地区報告（代理報告：笹尾）【承認】

3-4-4 関西地区活動報告（三好）【承認】

・ 見学会について

北海道地区同様、外部のツアーに参加してみた。今後も活用していきたい。

3-5 「輪」編集・発行報告（佐藤）【承認】

- ・ 2010 年夏号を発行したいので原稿依頼された方、よろしくお願いします。

3-6 ワーキング活動報告

3-6-1 坑内労働規制緩和 WG（須田）【承認】

・ 活動報告

一昨年に土工協と共同で行ったアンケート調査結果の簡単な取りまとめと、女性の坑内労働に関する法規制前の状況について資料の収集等行ったが、一般向け用の記事を作成してホームページ等で公開するところまでは作業が出来なかった。

規制される前は女性の坑内労働作業は一般的に行われていたということが確認できた。

（丹那トンネルの慰霊碑に女性坑内労働者の名前を確認。

筑豊炭鉱では地元の歴史研究者による資料で確認。

常磐炭鉱ではヒアリング結果により女性坑内労働者を確認。）

講師の派遣依頼はなかった。

3-6-2 ホームページ運用 WG（岩本）【承認】

- ・活動報告

地区活動、新入会員紹介、会誌等その都度更新を行った。

- ・会計報告

全てメールでのやり取りのため、収入、支出とも 0 円。

3-6-3 就職支援 WG（代理報告：笹尾）【承認】

- ・女子学生の職業選択・就職支援を目的に「Civil Engineer への扉」の販売を行っている。昨年度から山梨大、埼玉大学生協の協力の試運用を開始したが、売り上げ部数は山梨大 3 冊、埼玉大 1 冊であり、埼玉大生協からは返品希望があった。今後課題として整理していく。

- ・残部数は 2006 年版 1593 部 1999 年版 94 部

【質疑応答】

質 就職支援冊子の保管場所の表示は必要か？

答 外部資料には載せないこととする。

3-6-4 広報企画 WG（山田）【承認】

- ・活動実績

会の紹介チラシを作成。ホームページへ掲載予定（電子版のみ作成）。

再構築シナリオの検討を今年度行っていく。

3-7 平成 21 年度決算報告・会計報告（山田）、監査報告（山本）【承認】

- ・H20 年度から複式帳簿化に取り組んでいる。本来なら、貸借対照表と損益計算書で会計報告となるが、作業が間に合わず旧来の現金主義での報告となっている。単年度はプラスとなっている。資産内訳のうち、未払い金が含まれていないため、期末の金額が若干変更となる。来年度は貸借対照表と損益計算書で報告したい。

4. 活動計画

4-1 活動方針（代理報告：松本副会長）【承認】

4-2 平成 22 年度役員・会計監査（笹尾）【承認】

- ・昨年度からほぼ留任であるが、中部地区世話役が所さんから平永さんに交代。

- ・ホームページ WG は再任で岩本さんをお願いしたい。

- ・第 30 回記念総会 WG の設置及び WG リーダーを須田さんとするのを承認してもらいたい。

4-3 役員会・事務局活動計画（龍）【承認】

4-4 地区活動計画

4-4-1 北海道地区活動計画（田原）【承認】

4-4-2 関東地区活動計画（北原）【承認】

ハードからソフト（人とのつながり等）への勉強会を行っていききたい。

4-4-3 中部地区活動計画（代理報告：笹尾）

地区役員が総会で決定したので活動は今後検討していく。

4-4-4 関西地区活動計画（三好）【承認】

4-5 「輪」発行計画（佐藤）【承認】

- ・夏号（公開版） 総会特集

巻頭言 松本副会長 地区活動レポート 何か活動があれば各地区の編集に。

- ・冬号

巻頭言 島村副会長 第30回総会（関東地区）案内チラシを掲載。

4-6 WG 活動計画

4-6-1 坑内労働規制緩和 WG（須田）【承認】

- ・活動の目的 働く女性の立場から緩和された事項の啓発・普及・助言を行う。
- ・メンバー 新メンバー2名
- ・活動内容 一般向けに広報素材を収集し、ホームページへの掲載にむけ資料をまとめる（今年度必ず掲載します）。
- ・30回総会に向けたプレイベントでも使用可能な資料としてまとめていきたい。

【質疑応答】

質 学会誌に投稿記事として申し込みしてはどうか？

答 検討します。

4-6-2 ホームページ運用 WG（岩本）【承認】

- ・コンテンツの見直し、日常更新を行う。
- ・会の PR パンフレットの UP を行う。

4-6-3 就職支援 WG（代理報告：笹尾）【承認】

- ・生協販売は山梨大のみとなる。
- ・引き続き「Civil Engineer への扉」の生協販売、個人販売、PR 活動を行っていく。

4-6-4 企画 WG（山田）【承認】

- ・会説明チラシの更新。
- ・H23 年度総会での報告をめざし、再構築シナリオの策定。

4-6-5 第30回記念総会 WG（須田）【承認】

- ・メンバー 資料記載以外にアドバイザーとして旧役員経験者にもお願いしたい。
- ・活動内容 総会までにプレイベントを企画・実行し、会ならびに女性技術者の存在を PR していきたい。
- ・土木学会、地盤工学会、技術士会へは内々で写真展示やアンケートの実施について話を進めている。
- ・各イベント、討論会（パネラーとしての参加等）への参加肩書きを「土木技術者女性の会〇〇」としてほしい。

- ・総会はメッセージ性のあるものとしていきたい。たとえば桑野会長のインタビュー記事のような「土木は命を守る仕事」等。イベントは土木分野以外の異分野の講師を招いて行いたい。例えば「ITと土木」とし日本IBMの方を講師に招くなど。
- ・プレイベントのポスター展示はA1で2枚考えている。1枚は真ん中にホームページの写真、周りを会員の個々の顔写真で囲むイメージ。もう一枚はアンケート結果、会の情報等を掲載する。また今総会に参加された方全員については、個々に撮影させてもらい、その写真をポスターに載せたいと思うので了承願いたい。
- ・プレイベントで会をアピールする名刺の原案を作成した。
- ・WGメンバーにホームページ運用ワーキングリーダー岩本さんを追加してほしい。
- ・9月北海道大学の土木学会主催イベントでパネル展示を交渉中。
- ・10月に開催されるダイバーシティフォーラムにて展示予定。

【質疑応答】

質 顔写真は会員全員を載せるのか？

本日不参加の地区会員の写真は集めるのか？

写真は普段着よりも、工作中的の作業着姿等のほうがいいのでは？

ポスターはいつ完成する予定か？またポスターにも英語表記をお願いしたい。

名刺にはローマ字表示もしてほしい。

答 会員全員を載せることによって説得力があるポスターとなる。会員への周知を各地区で行ってもらい写真を集めてもらいたい。できるだけ沢山の顔写真を載せたい。

ON、OFFということでも普段着、仕事着等もできれば考えたい。もう少し考え、また、メール等でお知らせする。

8月18日のイベントへの参加に向けて完成を目指しているが、写真が集まらなくても、その都度集まった写真のみで完成という形にしたい。

名刺はソフトを提供する。中身は自分で記入してもらう。

ローマ字表記版など、事務局で数種類の見本を作成する。

4-7 予算計画（山田）【承認】

- ・複式帳簿化した予算案としたいが間に合わなかったため、後日役員会での承認をもって会としての承認としてもらいたい。
- ・次回からは地区毎の予算計上も行う。

5. 第31回総会開催地について【承認】

- ・北海道地区が立候補

6. その他

6-1 輪の発行形態について（龍）【承認】

- ・WEB配信である「輪」を印刷製本した冊子で発行して欲しいという意見があったため、アンケート調査を実施した。

- ・役員会でも意見が分かれている。時代の流れや会計、事務局の負担軽減のためにはWEB配信をお願いしたい。全会員に冊子で郵送することや、希望者のみに実費で郵送することも難しい。
- ・希望者のみも、固定された人への郵送であれば、現在でもメール不達会員で郵送の方（20名）がいるので、そのリストに入れるのであれば、事務局の負担は変わらない。

【質疑応答】

質 追加の郵送希望者は実費なのか？

答 個々にお金を徴収することはできない。会費と郵送費が別管理となるため事務局の負担が増加する。（担当の方には会費徴収等はボランティアでお願いしているので、これ以上の負担は難しい。）

冊子希望者の人数が多いと負担増となり難しい。

もう一度アンケートで希望者を確認し決定事項としたい。

質 無料であれば、希望者は増えてくる。原則メールが使えない人のみにすべきでは？

答 冊子希望者の確認アンケートには事務局の負担や金額等の事情を盛り込み、それでも必要かどうかを確認したい。

質 どうしても紙を希望するのであれば、理由書を提出してもらおう等すると制限がかかるのでは？

答 アンケート結果を参考に、役員会で決定する。

6-2 掲示版について（島村）【承認】

- ・地区の範囲が広く行事に参加しづらい、行事に参加できないが会での交流を望んでいる等の意見があり、すべての会員が気軽に交流・相談のできるWEB掲示版を作ってはどうかということで検討を行った。
- ・地区メーリングリストの活性化→実質的に難しいため不採用
- ・SNS（MIXI）開設の可能性→この方向で掲示板を開催することを検討
 掲示板に書き込むためには会員になる必要がある。IDとパスワードが必要。
 女性の会会員限定とするため、承認制。
 主、副の2名の管理者が必要。管理者は炎上対策や悪意の書き込み削除、承認作業が必要。
 試験運用期間を設けて課題を整理検討する必要がある。

【質疑応答】

質 運用して欲しいが作業が大変なのであれば無理にとは言わない。

地区のメーリングリストは他地区の方とは交流できないのが難点。

匿名ではなく、名前を明かせば炎上は免れると思う。

質 会員限定であればニックネームではなく実名を名乗る。匿名の場合は削除するという方法もある。

中部地区では地区メーリングリストの使用は皆無。SNSのハードルが高そう。

答 最初だけが手間であり、ログインすれば普通の掲示板と同じである。炎上の心配より書き込みのない方が心配である。

管理人・副管理人をしてもらえる人はいないか。

質 管理人は女性の会の名簿がいるのでは？名簿管理者にその都度問い合わせる必要があるのでは？

答 個人情報保護法の観点から、セキュリティの関係上役員が管理人になる方がベターと思われる。

→ 管理人にはどのような制限、負荷があるかを調べ、事務局からメールで発信し、管理人を募り試験運用から始める。

質 運用を続けていくうち、時間が経つにつれ書き込みが無くなるかもしれない。会社からそのサイトに入ることができない。わざわざ帰宅してからそのサイトに入るかどうか疑問である。

→ 何か他に意見があれば島村さん宛てにメールする。

7. 閉会挨拶（三好関西地区世話役）

以上





私が「女性の会」の行事に参加したのは確か北海道のニセコへ行った総会が最後だったと記憶しています。その後東京から関西へ転勤し、現場を転々としている間に幽霊会員となっていましたので参加は実に5年振りです。阿倍野駅の改札前でプラカード嬢をしながら「きっと判らないだろうな～」なんて思って立っていたら、「あれ??なんか見覚えが・・・」と思う方がちらほら、皆さん5年経ってもお変わり無いですね!!!



2009年12月見学会での現場の様子

今回は関西地区が幹事ということで、今年の12月に行われた阿倍野地区のプレ見学会にも参加しました。12月に見た時にはまだ掘削や山留工事をしていて、各工区共山留工事では色々苦勞・工夫をされていると聞きました。半年経った今ではあれ?もう7Fまで!?すっかり様変わりした現場を見ると、改めて施工のパワーを感じます。

また、天王寺・阿倍野地区は大阪南の玄関口ですが、私はほとんど足を踏み入れたことが無く、こんな都心で大規模な再開発事業が行われていることは

知りませんでした。しかし、お話を聞くと実に長期間に渡って様々な問題を解決しながら進められている事業ということで、関西特有の奥深い歴史や事業計画の繊細さも感じました。

次回は30回記念総会ということで、更に活気のある総会になると思います。来年も皆さんにお会い出来る事を楽しみにしています!



大阪の第3極 “天王寺・阿倍野” に行ってきました

北海道地区 伊藤優子

北海道地区から大阪総会出席者は6名。地区会員が15名なので、出席率40%は誇れる数字。出席率の高さ＝意識や稼働率の高さという相関関係はないと思いますが、ちょっと自慢。さて、個人的なことですが、久々の総会・見学会の出席でした。一つは、うわさの阿倍野の再開発現場を見たかったこと、もう一つは、大学の後輩が“鹿島”に就職し、総会に参加するという情報が入ったので、この機会に会いたいと思ったことです。更に、もう一つの理由。娘が関西に就職しているので、部屋の掃除も兼ねて、いざ、大阪へ！

見学会の阿倍野の話少々。阿倍野再開発事業については見学会担当者から詳しい報告があると思いますので、個人的な視点からお伝えします。北海道人にとって、大阪は“ミナミ”（イントネーションが微妙）と“キタ”という分け方しか認知していません。それはきっと演歌の影響でしょう。さて、本題。天王寺・阿倍野という第3極がある事を知ったのは、再開発事業に携わってからです。どんな案件も阿倍野「金塚地区」の再開発に比べれば、「小さい、小さい！」「そんなのは苦勞とは言わない」と聞いていたので、一度その現場を見たかったのです。昭和44年都市再開発法の公布、昭和50年都市再開発法の改正（第二種事業の創設）を経て、昭和51年の当該地区の都市計画決定・着工。そこから事業計画・都市計画の見直し・変更が繰り返される長い歴史が始まるのです。再開発プランナー資格試験などではお馴染みのテーマです。また、住民訴訟としても注目されており、民事記録も莫大なものです。「阿倍野再開発訴訟の歩み：阿倍野再開発裁判記録」もあります。見学会では、古い市街地と近代的な工事が並行する現場を見ることができたことを嬉しく思います。1年先では決して見られない現場ですから。関係者の皆様、ありがとうございました。



阿倍野地区再開発（2010/06/25）

今回は、記念すべき30回記念総会。設立当時は、雇用機会均等法もなく、男女の初任給格差なんて当たり前前の時代でした。人事部に問い合わせると「社会通念でしょ！」と一蹴され、図らずも人前で涙してしまったことを思い出します。そんな悔しさが、自分を支えてきたという自負もあり、若い女性たちが働きやすい環境づくりにも心がけて来たつもりです。そして、この会場でゼネコンに入社した後輩に対面できるとは、感慨深いものがあります。私も、ゼネコンに就職活動をしたことがあり、「あなたには、もっとふさわしいお仕事があるでしょう。そちらの方面でご活躍下さい。」という手紙まで添えられた断り状をいただいたこともあります。思い出すと、悔しさがまたまたこみ上げてきます。でも、道は確かに続いている。そのことがたまらなくうれしい！

30と1回目の開催地は北海道。有珠山の噴火跡やジオパークに認定された洞爺湖周辺をご案内したいと考えています。洞爺はサミット開催地。なんて、ちょっと先の夢を膨らませていると仕事もつらくない。唯一つらいのは、大阪のお土産。滞在中に「アレルギー性鼻炎」になり、ティッシュ箱を抱えて北海道に戻りました。今もグスグス涙しています。

第 29 回 土木技術者女性の会 総会

in 大阪

関東地区 島谷友理



スケジュール

日 時：2010年6月25日（金）・26日（土）

🍷 25日（金）

現場見学会：大阪市 阿倍野地区第二種市街地再開発事業

懇親会：がんこ 道頓堀店

🍷 26日（土）

総 会：大阪中央公会堂



6月25日（金）と26日（土）の二日間にかけて総会に参加しました。

最初は、阿倍野地区再開発事業のなかでも、阿倍野駅前に大型商業施設を創る建築現場の見学会でした。同じ建設業界にいても、建築の現場を見る機会はめったにありません。興味津々で写真をたくさん撮ってきたので一緒にご紹介します。

工事概要・設備概要

■ 工事名	阿倍野A1地区第2種市街地再開発事業 A2棟建設工事	■ 電気設備	特高22KV受電3Φ3W 非常電源 1000KVA発電機、直流電源装置、 蓄電池式非常照明 非常放送、中央監視設備、駐車管制、ITV、 自動火災報知設備等
■ 建築主 (特建者)	東急不動産株式会社	■ 給排水衛生設備	380㎡入水層、270㎡雑用水槽、 加圧給水方式 局所給湯、ガス、消火設備、500㎡/日 厨房除外設備
■ 設計者	安井建築設計事務所・東急設計コンサルタント 共同企業体	■ 空調設備	大阪ガス熱源受託 氷蓄熱8660RTH、 ガス吸収式冷温水機 外気処理空調機、PAC、FCU方式、 機械換気、排煙設備
■ 施工者	竹中工務店・東急建設共同企業体	■ 昇降機	エレベーター 乗用15基、人荷用6基、 荷物用2基、非常用1基 エスカレーター54基
■ 建築地	大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目80番1外		
■ 建築物の 主要用途	商業（物販・飲食）・事務所・駐車場		
■ 敷地面積	37,803㎡		
■ 建築面積	32,890㎡		
■ 延べ面積	183,730㎡		
■ 構造	SRC造、一部S造		
■ 階数	地上6階 地下2階 塔屋2階		
■ 高さ	<建物高さ>34.3m <最高高さ>44.3m		
■ 駐車台数	約1,500台		
■ 駐輪台数	約1,900台		
■ 店舗	イトーヨーカ堂（核店舗）、東急ハンズ （準核店舗）、他専門店約280店舗 （うち権利者約65店舗）		
■ 工期	2009年1月13日 ~ 2011年3月31日（予定）		

とても広いです！！
全部の階を
見学させていただきました！

配布資料より



左の写真は現場の入り口です。30人近くの女性ばかりがぞろぞろ入ってきたので、休憩中の作業員さんたちは何事かと驚いていました。作業員さんの花道を通っていざ現場に出発です。

←こんなにたくさんのマンションに囲まれた現場です！近隣対応が大変そうです…

右の写真は商業施設の1階フロアにあたる朝礼会場です。整理が行き届き大変綺麗でした。ただなんといってもその広さに驚きました。見渡す限り朝礼広場です。それもそのはず、この現場は多い日には1日1000人もの作業員さんが働くそうです。

左側には各業者の作業内容などを書いたボードが掛けてあります→

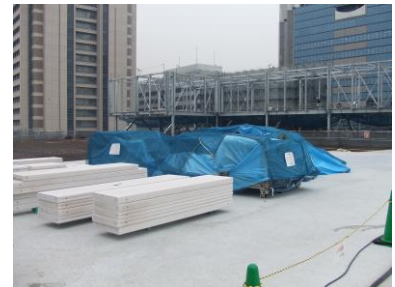


見学の間中ずっと、吹き抜けのわずかな隙間にレッカーを据えて資材の荷揚げをしていました。大変窮屈そうに見えましたが、玉掛け者もオペさんも慣れたもので、息ぴったりすすい作業を進めていました。

←奥の光が差しているところがわずかな開口部です

各フロアを回り、ようやく屋上に到着です。右の写真奥はまだ鉄筋組み立て中で、さらに右奥では通路のような構造物を組み立て中でした。

屋上端部から見下ろすと大きな道路があり、その中央に大阪らしいちんちん電車（路面電車）が走っていました。



大阪市の方々が長年、力を注いできた阿倍野地区再開発事業です。平成23年の完成が楽しみです。

配布資料より



初日の締め括りは、大阪の中心地、あの有名な道頓堀川近くのがんこ道頓堀店 での懇親会でした。

蒸し暑い中、現場見学でたくさん歩いたため、みんなお腹ペコペコ、喉からからでした。

いよいよ待ちに待った「乾杯！！」でしたが、このとき全員でくいと飲んだのはなんと、食前酒ならぬ食前「酢」でした！びっくりした喉がひりひり…みんながすっぱい顔になり、爆笑で懇親会が始まりました。食事の美味しさも加わり、終始笑いが絶えないとても楽しい会になりました（自己紹介ではAKBがいたりおニャン子がいきました）。



↑豪華ゆば懐石☆中央にあるのが食前「酢」です

翌日の総会は、大阪市中央公会堂で行われました。あいにくの雨でしたが、全国各地から 32 名の会員が集まりました。

総会では、平成 21 年度の活動報告や決算報告と、平成 22 年度の活動計画の発表を行い、各地区各 WG から自由闊達な提案や意見が出ました。特に、すべての会員のみなさんが自主的に気軽に交流・相談などができる Web 掲示板を作成してみてもどうか、という提案には様々な意見が出ました。短い時間でしたが、とても密度の濃い有意義な会でした。

私は先日会員になったばかりで今回が初めての参加だったのにも関わらず、皆さんが親切に声を掛けてくださいました。さらに、仕事の悩みやプライベートの悩みまでいろいろな相談にもものって頂きました。先輩方の様々な意見が聞けて、人生の勉強になりました。このような素晴らしい先輩たちが全国にいると思うととても頼もしく感じます。エネルギー溢れる方々と出会えて、良い刺激を受けることができました。私ももっと頑張ります！！

最後になりましたが、会を開催していただいた皆さまに御礼申し上げます。ありがとうございました。

参加者の感想

中部地区 中西 利美



昨年は、皆さまのご協力で名古屋地区開催の総会を無事に行うことが出来たことを、遅ればせながらこの紙面をお借りして感謝申し上げます。今年の第 29 回土木技術者女性の会（大阪地区）へは、見学会から総会を通して中部地区から参加したものが私だけだったので、今回も感想文を書かせていただきます。

大阪地区主催の総会には雨が付きもので、今回もご多分に漏れず天気予報は“曇りのち雨”でした。しかし、うっとうしい天気とは異なり、大阪の地に到着してからは、大阪人の親切さに度々触れ、気分は晴天でした。と言うのも、ホームに降りて乗り換えの道筋を尋ねると、行き先の駅をわざわざ問われ“阿倍野なら、こちらのエレベータに乗った方がいいです。気をつけて！”とおじさんが連れて行ってくれ、若者が席を替わってくれ、地下鉄職員がフリーチケットの買い方をボタン操作までして教えていただき、さらには、大阪地区の世話人の方々が、地下鉄の改札口から会場まで案内に立っていただいて迷うことなく辿り着けました。阿倍野には、第 10 回総会（大阪地区）関空工事現場見学会の後の懇親会を阿倍野の遊郭だった建物で行ったことがあり、案内の地図から同じ地区だと当たりを付けていました。現場に到着して、ここが本当に約 20 年前に訪れた所だとは信じられませんでした。大阪市阿倍野地区第二種市街地再開発事業の時間の長さが困難の大きさを表していると実感し、この変貌ぶりには、明日への希望を感じました。

懇親会は、日本がワールドカップ一次予選 3 試合目のデンマークに勝利しベスト 16 となった夜で、一段と混雑している難波の“がんこ道頓堀店”（24 名の参加者）で、外の賑やかな雰囲気に負けないくらい賑やかな雰囲気でした。美味しい日本料理を食べながら話がつきず時間を忘れ、若者のエネルギーを体一杯吸い取りました。私の周りに座られた皆様、大丈夫でしたか？

二次会は、満腹状態で居酒屋に行き、会員が手がけた道頓堀の改修工事の優雅な仕上げを見ながら、一段と話の輪が広がり、終電の時間を気にする状況でした。私は、ぎっくり腰の回復時のため、お酒をセーブしながらでしたが、しっかり楽しめました。歩数計が 18721 歩を示していたように、足腰にはきつかったのですが、ホテルのベッドでワールドカップの試合を見ながら心地良い眠りにつくことができました。

26 日の総会は、由緒ある大阪市公会堂の中の会議室で行われました。会場には発足当時の正木さん、天野さん始め若い会員の方々も多く参加され、来年 30 回に向けての活動方針など活発な意見が飛び交いました。中部地区は、今年平永さんを世話役に当日参加していた森瀬さん、水野さん等若手が皆様の暖かいご支援のもと、明日への架け橋になると信じています。よろしくお祈りします。

最後に、お会いできた大阪地区の皆様、心のこもったおもてなしありがとうございました。



第 10 回総会の懇親会会場



第 29 回総会の見学会会場



2010.6.26 第 29 回総会会場（開始前の風景）



第 10 回総会の懇親会会場

総会に初めて参加された方の感想



土木技術者女性の会に初めて参加して 北海道地区 藤田 佳那子

今回初めて土木技術者女性の会に参加させていただきました。私は3月に大学を卒業し、4月から建設業界に入りましたが、女性の土木技術者に会う機会が殆どなく、とても心細く感じていました。

しかし、先日の土木技術者女性の会に参加し、全国各地の会員の方にお会いすることができてとても嬉しく思いました。

女性ならではの結婚や子育てについてなど、普段は滅多に聞く機会がないお話をたくさん伺えて、とても充実した時間を過ごすことができました。

これから先もぜひ参加させていただきたいと思いますので、今後とも何卒宜しく願いいたします。

女性の会に参加して 関東地区 市川智子



入社してからシールド・橋梁・鉄道など様々な現場見学に行く機会がありましたが、建築の現場を見学するのは今回が初めてでした。まず驚いたのは、JV社員・作業員の数の多さでした。私が今いる土木の現場は社員と作業員を合わせて多くても20人程度ですが、この現場では社員で50人程度、作業員は百人単位と聞いて阿倍野再開発事業の規模の大きさを感じました。また、この見学会に参加して先輩女性技術者の方々から貴重なお話を聞いたことがとても勉強になり、これから自分が女性技術者としてどのように働いていくかを考えることができました。また違う工種の現場見学があれば参加したいです！そして、阿倍野の再開発が終わったら見に来たいと思いました。



第 29 回総会に初めて参加して
関東地区 大久保優紀

2008 年に女性の会に入会してから都合がつかずにく
っと行くことの出来なかった総会に先日初めて参加させ
ていただきました。幸いなことに総会の前日に行われる
現場見学会と懇親会にも参加することができ、非常に貴
重な体験をさせていただきました。

男性が多い職場に努めていますので、様々な分野で女性の土木技術者が活躍されている
という事実が改めて励まされました。懇親会では、諸先輩方とお話させていただき、色々
なアドバイスをうけ、非常に勉強になりました。総会では、活発な意見が交わり、女性の
土木技術者がいるということを多くの方に知ってもらおうと真剣に話していたことに感動
いたしました。また皆様非常にパワフルで、私も頑張らなくてとはと元気をいただきました。

私も女性土木技術者の一人として、一緒に女性の会を盛り上げていきたいと思っていま
す。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

逞しさ、しなやかさ、美しさ
関東地区 山田麻里

「会場を間違えた？」一瞬とまどうほど、会場は華やいで
いました。

今回の見学会・総会は初めての行事で、期待と不安を抱え
ての出席でしたが、会場で先輩方のお顔を拝見し、不安の方
は全く不要だったなと思いました。規模の大きな建築現場を
見るのは初めてでしたが、自分の現場に生かせるものは無い
かと興味深く見させていただきました。また、懇親会は本当に賑やかで楽しく、諸先輩方
がどのような思いで土木に携わっていらっしゃるのか、その考え方やライフスタイルに触
れることが出来ました。皆様職種は様々ですが、どの方も共通して、とてもしなやかで美
しいなと感じました。

男性が多い「土木」の世界ですが、女性がこの世界にもたらすモノは確実にあるのだな、
と改めて感じた会でした。

会を主催された関西地区世話役の皆様、本当に有難う御座いました。若輩者では御座い
ますが、今後ともこのような会に参加させていただきたいと思っておりますので、宜しくお願
いいたします。





初めて総会に参加して
関西地区 勝田つかさ

先日開催されました第 29 回総会を機に、土木技術者女性の会の存在を知り、初めて活動に参加をさせていただきました。遠方からも多くの方が参加されていて、会の活発さがうかがえました。ゼネコンの作業所勤務である私は日常の中で女性と接する機会はほとんどありません。今回、総会に参加して、多くの女性が土木の世界で活躍されていることを実感でき、とても心強く感じました。また、現場を見学させていただいたことで、自分の現場を客観的に見直すきっかけとなり、業務の励みにもなりました。今後も、土木技術者女性の会を通じて、多くの方々と出会い、様々な体験をして、日々の活力にしていきたいと思います。

「土木技術者女性の会 現場見学会に参加して」
関西地区 広野 彩

私は学生時代にも、こちらの会の見学会に参加させていただいていました。今は建設会社に入社して3年目ですが、周りの皆さんと近い目で現場を見たり、お話ができたように思います。他社さんの現場を、同性の方と見学させていただく機会は大変貴重なので、ぜひまた参加させていただきたく思います。ありがとうございました。



総会を終えて～さらに次へ

関西地区 三好 葉子

先日は総会へのご参加、ありがとうございます。不参加であった皆さまも盛会をお祈りいただいていたことと思います。おかげをもちまして、なんとか第29回総会を終えることができました。

四年前から地区世話役を勤めさせていただいており、私にとっては今回が任期内二回目の総会担当で、前は京都で開催いたしました。

今回はどっぷりと大阪を味わっていただこうと考え、

- ・総会は中之島の中央公会堂
- ・見学会は阿倍野再開発事業

などと、早いうちから企画・準備にかかっていたのですが…結局見学先との調整や資料作成も、ギリギリ、前夜までかかってしまったり、見学会・総会とも頼りにしていたメンバーが急に参加できなくなるというアクシデントもあったり。「二回目だし地元開催やから…」と安心していただけ分、「こんなはずでは！！」と、焦り倍増な感じでした。また、開催後の細部にまでは気が届いておらず、残務でまだまだバタバタしてしまっており、反省の日々を送っています。

女性の会に求めるところは皆さん様々だと思いますが、私は「励まし合いの場」としての価値を一番強く求めている、総会に参加することで一番その欲求が満たされます。全国に、頑張っている同性の同業者がたくさん居ることを実感し、言葉を交わし合えることで大きな力を得ることができるからだと思います。皆さんにとってもそういう場となれたら、と願っての今回、私は大いに楽しみ、充実した時間を過ごさせていただきましたが…皆さんはどうでしたでしょうか。

来年は「第30回記念総会」で、すでに着々と準備が進んでいっているようで、今から楽しみにしています。この会が今後さらに有意義な集まりになっていけたら、本当に素晴らしいことだと思います。



総会資料の表紙イラスト…
大阪名物が細かに描かれています。



中央公会堂での総会の様子

今回、地区メンバーや参加くださった皆さんの臨機応変な対応には、たくさんの場面で助けられました。改めてお礼申し上げます。

総会の感想・報告ではなく、お礼のご挨拶文となってしまいました…

「皆さん本当にありがとう、来年東京でお会いしましょう！！」



ホームページ運用WGの活動報告

ホームページ運用 WG リーダー 岩本理恵

● 活動の目的

会の PR、会の活性化、事務処理の簡略化等に活用できるホームページの構築と運用を目的としています。

HP 上で会員情報の更新や入会申込みの受付ができるようになり、事務処理の簡略化についてはシステムがほぼ完了している状態です。現在ではコンテンツの充実を目指して行っています。

以下のメンバーで活動しています。

岩本理恵（リーダー）	須田久美子	佐藤亜紀子
松本香澄	田中真弓	

● 平成 21 年度活動報告

ほとんどはメーリングリストを使っての作業です。

日常的に、地区活動報告、新入会員紹介、会誌「輪」、役員名簿等の掲載する情報が入り次第、HP 更新を行いました。また、会員ページへのログイン方法についてのヘルプページを追加しました。

【ログインヘルプページ】 <https://womencivilengineers.secure-ymc.jp/login-help.htm>

ログインヘルプ

会員ページ(会員専用ページ)閲覧にはアカウントとパスワードの認証(ログイン)が必要となります。まだアカウントの登録をしていない会員の方は、アカウントの登録を行ってください。

- アカウントの登録
- ログインとログアウト
- アカウント、パスワードを忘れた場合

アカウントの登録

- 「会員ページへログイン」ページを表示します。
トップページの左側にあるメニューの「会員ページ」をクリックすると表示されます。

会員ページへログイン

アカウントとパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押してください。

アカウント:

パスワード:

アカウントを新規作成するには「**ここ**」をクリックしてください。また、アカウント情報をお忘れの場合は「**こちら**」をクリックしてください。

図-1 「会員ページへログイン」ページ

- ページ一番下の行中の文字「ここ」(図-1の赤丸で示した場所)をクリックします。

● 平成 22 年度活動計画

昨年に引き続き、日常的なHP更新を行うとともに、コンテンツ拡充へ向けて活動を行います。携帯版HPの検討・作成を行う予定です。

● 情報の受取からHP掲載まで

見学会や勉強会等の開催案内や活動報告等、HPへ掲載してほしい情報がある場合の情報受取から掲載までの流れは大体以下のとおりです。受取から掲載まで1週間程度を目安としてください。

掲載情報をPDFファイルにして送付（PDF作成の環境がない方にご相談ください）
※その他、関連資料、画像ファイルがあれば一緒に送ってください。

↓
送付先 HP運用WG岩本（yrw03112@nifty.com）

HP運用WG
受け取ったファイルの内容を確認後、HP更新作業。

↓
新着情報、地区活動紹介ページにPDFファイルをリンクさせて掲載
（会員のみ周知したい場合は、会員ページへリンクさせる）
※見学会等の開催案内の場合など、必要であれば専用ページを作成することもいたします。

写真&メンバー募集

過去に行われた総会や地区活動の写真をお持ちの方はいませんか？
HPの会の歩みや地区活動報告、会員ページでの利用を考えています。
お持ちの方は、以下のいずれかの方法で下記送付先までお願いいたします。

- ①写真データを添付してメールで送る。
- ②プリントした写真を郵送する。（データ化の後、返却いたします）

※分かる範囲でよいので、撮影時の状況と日付を明記してください。

HP作成に興味のある方、随時募集しています。下記までご連絡ください。

送付先・連絡先

岩本理恵 yrw03112@nifty.com

（株）環境モニタリング研究所

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-10-10

TEL 03-5985-9503



企画 WG 活動報告

企画 WG リーダー 牛山育子



活動の目的

企画 WG では、今後の会の活動方針を模索すべく活動しています。

その理由として、会の発足から 25 年が経過し、女性技術者の土木業界への進出も進みつつある中で、多くの女子学生が女性技術者の情報を把握することが困難な現状があるからです。

特に、短期的には女子学生の職業選択・就職支援に重点をおいた広報企画の試運用、中長期的には会の再構築を視野に置いたシナリオ案の検討を行っています。

活動は主としてメーリングリストを活用しています。

メンバー

	氏名	役割分担
リーダー	牛山 育子	再構築シナリオ案
	山田 菊子	再構築シナリオ案
	松本 香澄	再構築シナリオ案

活動実績

(1) 会の紹介チラシ作成 (25~26 ページ参照)

- ・現場見学会開催の際、受入先からどういった会なのか、ペーパー1枚で集約されたものを求められることが多いために作ったものです。
- ・会の設立目的、活動内容等を要約したものとして作成しています。
- ・広報ツールのひとつとして活用してください。

(2) シナリオの検討

会の発足からすでに 20 年以上が経過し、会員の意識も、また会を取り巻く社会経済状況も大きく変化してきていることを受けて、H20 年度に、当会の意義・方向性を議論していくためのたたき台を作成しました。

平成 21 年度は、課題整理等、たたき台を見直しました (27 ページ)。

今後、当会の意義・方向性については、役員会、総会で議論し、会員及び外部に一定の方向性を示す予定にしています。





土木技術者女性の会 ご案内

土木技術者女性の会は、土木学会誌（1982（昭和57）年9月号）の誌面で企画された「女性土木技術者の座談会」における「日本各地で孤軍奮闘している女性の土木技術者が情報交換できるような会を…」との呼びかけをきっかけに、1983（昭和58）年1月に約30名で発足しました。

現在では、全国各地に150名弱の会員がいる任意団体として、他の機関と連携しつつ多様な活動を進めています。会員は全国4地区のいずれかに所属し、地区活動に参加します。また役員会及び役員会を補佐する事務局により会全体の活動方針などを企画・提案しています。




目的


女性土木技術者特有の問題をきめ細かく取り上げ対応していくために、独立した団体として活動しています。女性技術者の質の向上と活動しやすい環境づくりのために、次のような目的を掲げています。

1. 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
2. 土木界で働く女性技術者の知識向上
3. 女性にとって魅力のある、働きやすい土木界の環境作り
4. 女性土木技術者の社会的評価の向上
5. 土木技術者を目指す女性へのアドバイス


 **名 称**：土木技術者女性の会（ドボクギジュツシャジョセイノカイ）

英文表記 The Society of Women Civil Engineers


 **発 足**：1983（昭和58）年1月


 **主な役員**：会長 桑野玲子（東京大学 生産技術研究所）
副会長 松本香澄（東京都 都市整備局）
副会長 島村亜紀子（前田建設工業株式会社 技術研究所）
事務局長 笹尾圭哉子（中日本建設コンサルタント株式会社 東京事務所）




 **活 動**：総会の開催（年1回）、会誌「輪（りん）」の発行（年2回）
現場見学会、講習会、講演会等の開催、就職支援パンフレットの発行（随時）他

 **会 費**：年会費 3,000 円。学生会員は入会金のみ 1,000 円

 **会員数**：144 名（2009 年 6 月現在）
官公庁、地方自治体、建設会社、コンサルタント、教育・研究機関などの職員や、フリーランサーなど、様々な分野で活躍しています。

 **U R L**： <http://www.womencivilengineers.com/>

 **E-mail**： webmaster@womencivilengineers.com（事務局）



最近の主な活動実績

見学会：都市計画道路 山下長津田線街路整備工事、インタープリターと歩く森のツアー（愛地球博記念公園）、琵琶湖疎水・疎水記念館、中之島線、一般国道 36 号札幌駅前地下通路設置工事、風力発電施設建設現場、狭山池ダム、近代土木遺産とワイナリー、下水道須磨浦幹線、神戸高速鉄道、アーチダム見学会（奈川渡ダム、水殿ダム、稲刻ダム、黒部ダム）等

セミナー・勉強会：女子学生のためのキャリアセミナー（関東地区、東京ウィメンズプラザ オープンプラザ事業採択）、土木・建設系女子学生のための就職セミナー（関西地区）、女子学生との交流会（関東地区）、進路就職ガイダンス（中部地区）、各地区、総会開催時における勉強会等

※これらの他にも、就職支援パンフレットの編集・発行を行い、総会等を開催しています。

土木技術者をを目指す女子学生のための就職支援パンフレット

Civil Engineer への扉 2006 年版

「Civil Engineer への扉」は将来を模索している女子高校生や女子大学生の職業選択や、土木技術者を目指している女性達の就職活動を支援することを目的として、土木技術者女性の会が作成した就職支援パンフレットです。（パンフレット作成には、「東京ウィメンズプラザ」の助成を受けました。）



【主な内容】

1. イラストによる土木分野の仕事の紹介
2. 現役で活躍している女性技術者 19 名によるロールモデルの紹介
3. 働く女性にとって重要な法令や資格に関する情報
4. 土木技術者女性の会の紹介



2006 年版（A5 版 23 頁）
（1996 年版もあります。）

定価 500 円（税込み、送料別）

※お問い合わせは事務局まで。

土木技術者女性の会 (The Society of Women Civil Engineers)

URL: <http://www.womencivilengineers.com/>

E-mail: webmaster@womencivilengineers.com

土木技術者女性の会の今後の方向について

■背景

- ・会の発足後20年を経過し、土木学会、土木・建設業界や、社会からの会への期待も拡大すると共に、内容が変容している。
- ・会員数は150名前後で安定してきており、会としての組織体の確立・財政基盤の確保という一定の目的は達したと考えられる。
- ・そこで、現時点で改めて、会の存在意義を再考し、今後の方向性について確認する必要があると考えた。

■現状

・社会においては、依然として、女性土木技術者の占める割合が少ない。会のネットワークを必要としている女性土木技術者はたくさんいる。
(⇒当会の目的3)

・坑内労働規制緩和へのイニシアティブ、土木学会におけるダイバーシティ推進の一環としての男女共同参画への取り組み(理事等への人材確保を含む)等、期待は大きい。
(⇒当会の目的4)

【当会の目的】

1. 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
2. 土木界で働く女性技術者の知識向上
3. 女性にとって魅力のある、働きやすい土木界の環境作り
4. 女性土木技術者の社会的評価の向上
5. 土木技術者を目指す女性へのアドバイス

・これから土木技術者を目指す女子学生に対して提供できる情報源も非常に少ない。これは、就職相談を受ける大学等の教員に対しても同じことが言え、会が情報提供の一翼を担うことで、一定の役割を果たすことは可能である。
(⇒当会の目的5)

■基本方針(案)

- ・将来は当会が不要となる時代が理想だが、現時点ではまだ当会の存在は必要であり、積極的に活動を継続する。
- ・土木技術者に占める女性の割合の増加をめざし、引き続き、PR・ネットワーク活動に力を入れる。
- ・未来を支える女子学生の職業選択・就職支援に力を入れる。(第二新卒・転職も同様・関係者への働きかけを含む)
- ・他の組織等による活動との連携を活用するとともに、当会は女性土木技術者のための組織として継続する)

■活動方針(案)

長期方針(2015目途)	中期方針(2009~14)	当面の活動	具体的方策
<p>多様な人材が働く社会の実現 (ダイバーシティ推進の一環)</p> <p>↓</p> <p>土木技術者に占める女性の割合の増加を目指す (割合増加⇒発言力を持つ・世の中を変える力を蓄える) ※女性割合が〇%を越えた時点で、会の存続の必要性や会の目的を再検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性土木技術者の存在をさらに社会にPRする。 ・女性土木技術者のネットワークを確立し、さらに拡大する。 ・今後、土木分野へ参入する 女性学生への職業選択・進路選択を積極的に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPを女性土木技術者のポータルサイトとして活用(情報発信・ネットワーク) ・就職支援パンフ等印刷物を活用し、PR活動を進める。 ・会内外向けに活動・イベント等の実施により、外部関係機関との連携を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP運用WG (ネットワーク活動に繋げたい) ・就職支援パンフ販売促進WG (就職支援業務も含む) ・総会30回記念イベント ・倫理規定WG ・坑内労働WG……

■情報の共有化・・・地域による男女協働参画についての取組姿勢の差。特に、協働促進のための組織や議論の場が、首都圏以外では乏しい。

- ⇒ 全国組織としての本会が、会員が知り得た情報を全会員に発信することで、情報共有。様々な働きかけ等、地域(地方)へ還元。
- ⇒ (具体策) 土木学会男女協働参画HPにリンクを貼る 等

■将来に向けての課題・・・活動の絞込み・Mission Statementの明確化・・・地区活動の活発化・活動参加会員の増加

- ⇒ まず、土木技術者女性の会 総会 30 回記念行事で PR

就職支援WG 平成 21 年度活動報告

就職支援 WG リーダー 橋本麻未



活動の目的

本WGは平成 20 年度に広報企画WGから分離独立したWGで、女子学生の職業選択・就職支援を目的に、主に「Civil Engineer への扉」の販売に関わる活動を行っております。

メンバー

橋本麻未（リーダー）	橋本 芳	岡村美好
染谷麻優子	竹之内綾子	小畑敏子
大久保優紀		

販売実績（平成 20 年度～平成 21 年度）

(1) 個人販売

20年度

販売先		販売先 件数	1999	2006	販売総数 (冊)		備考
団体	1公共団体	0	0	0	0	0%	
	2民間企業	2	0	8	8	8%	
	3大学	2	0	42	42	42%	
団体合計	—	4	0	50	50	51%	
個人	5会員	3	0	22	22	22%	
	6学生	1	0	1	1	1%	
	7個人贈呈	0	0	0	0	0%	保護者他
	8女性技術	3	0	23	23	23%	建設系以外含
	9その他	2	1	2	3	3%	
個人合計	—	9	1	48	49	49%	
TOTAL		13	1	98	99	100%	

21年度

販売先		販売先 件数	1999	2006	販売総数 (冊)		備考
団体	1公共団体	1	0	50	50	49%	
	2民間企業	3	0	33	33	32%	
	3大学	3	0	19	19	18%	
団体合計	—	7	0	102	102	99%	
個人	5会員	0	0	0	0	0%	
	6学生	0	0	0	0	0%	
	7個人贈呈	0	0	0	0	0%	
	8女性技術	1	0	1	1	1%	
	9その他	0	0	0	0	0%	
個人合計	—	1	0	1	1	1%	
TOTAL		8	0	103	103	100%	

(2) 生協販売

大学名	冊数	20年度 販売実績	21年度 販売実績	備考
山梨大学	20冊	3	4	
埼玉大学	20冊	1	-	20年度で販売打ち切り
名古屋大学	20冊	-	0	21年度で販売打ち切り
弘前大学				販売交渉不成立

- ・委託販売形式。
- ・会から生協への販売価格 400 円、生協での販売価格 450 円。

今後の活動

生協販売については、昨年度は山梨大生協と名古屋大生協のご協力を得て販売を行いました。昨年度終了時点での売り上げ部数は山梨大生協が7冊、埼玉大学生協が1冊、名古屋大生協が0冊に留まり、名古屋大生協からは返品希望が出されたため、現時点では山梨大生協のみでの販売となります。

「Civil Engineer への扉」の費用回収は完了したため、今後はより多くの女子学生に読んでもらえるような方法を検討し、実行していく予定です。

WGメンバー以外の方から、方針に関するご意見はもちろん、リクルート活動等で使ってみたいという希望がありましたら、ご相談ください。



坑内労働規制緩和 WG

坑内労働規制緩和 WG リーダー 須田久美子



活動の目的

改正労働基準法において女性の坑内労働規制が緩和され 2007 年 4 月から施行されたことを受けて、働く女性の立場から緩和された事項の啓発・普及、助言を行うことなど。

メンバー

須田久美子 (リーダー)	所 靖子	松本香澄
佐藤亜紀子	島村亜紀子	龍尊子
岩本理恵	大原真由美 (新メンバー)	橋本麻未 (新メンバー)

活動結果

(1) ホームページ用一般向け紹介記事の作成

一般向けの記事を作成する目的で、女性の坑内労働禁止規定が制定される前のトンネル工事等で女性が働いていた実態について、資料収集を行いました。丹那トンネル工事で女性のお名前が慰霊碑に残っていました。レンガ職人として働いていたようです。また、筑豊炭鉱の炭鉱労働者のありのままの姿が沢山の絵で残されていました。地元の歴史研究家の方がそれらを取りまとめ絵中心にした綺麗な本にして自費出版されていました。その中には炭鉱内に入って働く女性の姿がたくさん描かれていました。常磐炭鉱でも女性が炭鉱内でたくさん働いていたということを伺いましたが、資料での確認はできていません。平成 21 年度は資料収集のみで、ホームページ用の記事を作成することはできませんでした。

(2) 講師の派遣

坑内労働の規制緩和をテーマにした講演等の依頼はありませんでしたが、土木学会等で土木技術者女性の会の紹介をさせていただく際に、主な活動の一つとして、労働基準法の改正とトンネル工事を経験したいと考えている女性土木技術者がたくさんいることなど坑内労働規制緩和 WG の活動を紹介しました。

活動内容

(1) 一般向け広報素材の収集と作成

一般向けに以下の内容を盛り込んだ広報素材を収集し、ホームページに掲載できる記事にまとめます。

- 女性の坑内労働禁止規定ができた経緯と法律改正の内容
- 法律改正後にトンネル工事現場に土木技術者として勤務する女性の紹介
- 女性の坑内労働に関する建設業従事者へのアンケート調査結果の紹介

(2) 啓発・普及活動の会員への働きかけ

(1) がホームページに掲載された段階で、会員メール、ホームページを通じて啓発・普及活動をお願いします。

(3) 講師の派遣

会員の要請に応じて講師を派遣します。

第30回記念総会WG

第30回記念総会WG リーダー 須田久美子

活動の目的

来年の総会は、第30回目の記念総会です。記念総会イベントとして2011年6月24日（金）に「どぼく未来フォーラム」を開催いたします。また、記念総会を盛り上げるために今年度からプレイベントを実施し、会のPRを行います。関東地区、事務局、企画WG、就職支援WG、ホームページ運用WG、学生スタッフと連携をとり、準備を進め、会員の要望に応えるような総会開催を目指していきます。

メンバー

須田久美子 (リーダー)	桑野玲子	松本香澄	島村亜紀子	岡村美好
	牛山育子	山田菊子	岩本理恵	渡邊弘子
三村啓子	橋本麻美	橋本 芳	染谷麻優子	竹之内綾子
小畑敏子	大久保優紀	畠中千野	北原正代	岡田阿礼
高木麻希	箱田裕子	笹尾圭哉子	時弘みどり	佐藤亜紀子
福山貴子	龍 尊子	小松本奈央美	鈴木 綾	安形早織

活動内容

- ・2011年6月24日（金）に「どぼく未来フォーラム」を開催します。異業種の女性技術者による基調講演、土木の未来をテーマにしたパネルディスカッション等を考えております。企画が固まり次第、会員へ周知いたします。
- ・今年2010年は、総会のプレイベントを企画・実行し、積極的に会と「どぼく未来フォーラム」をPRし、記念総会の討論材料を収集・整理します。
- ・月に1回程度、WGを開催し、プレイベント、記念総会イベント、記念総会&現場見学会の内容を検討していきます。
- ・メーリングリストを活用して、WG内でも議論・検討を進めていきます。
- ・今年度中に1回は、遠方のWGメンバーも参加するWGを開催します。

プレイベント

プレイベントは、2010年8月現在で次ページのとおり予定しています。積極的なご参加をお待ちしています。また、各地区の行事や講演会・交流会など、土木技術者女性の会をPRする機会がありましたらWGリーダーの須田までご連絡ください。情報をお待ちしています。

【連絡先】須田久美子

住所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-1-9 五反田 HSビル 3階

鹿島・熊谷・五洋中央環状品川線シールドトンネル(北行)工事特定建設工事共同企業体

五反田出入口工事事務所 TEL 03-3779-5361 FAX 03-3779-5362

e-mail suda@kajima.com

No.	イベント内容					主催団体	対象行事	日時	場所
	ポスターA1	ポスターA0	Civil Engineerへの扉	会の紹介チャンネル	アンケート調査				
1	○	-	○	○	○	土木技術者女性の会関東地区	関東地区現場見学会	2010年7月31日(土)	裏高尾橋工事 (東京都八王子市)
2	○	-	○	○	○	土木学会	イブニングシアター	8月4日(水)親子向け	土木学会講堂(四ツ谷)
3	-	○	○	-	-	国立女性教育会館 日本学術会議「科学と社会委員会科学力増進分科会」	平成22年度 女子中高生夏の学校2010～科学・技術者のたまごたちへ～	2010年8月12日(木)～8月14日(土)	(独)国立女性教育会館 (埼玉県比企郡嵐山)
4	○ 2部	-	○	○	-	地盤工学会	全国大会	2010年8月18日～8月20日	愛媛大学 (松山)
5	-	-	○	○	○	埼玉県建設技術協会	技術講演会	2010年8月26日(木)	ホテルプリランテ武蔵野 (埼玉県さいたま市)
6	-	○	-	-	-	土木学会	全国大会	2010年9月1日～3日	JR札幌駅西口コンコース(札幌)
7	○	-	-	-	-	土木学会	掲示板へのポスター常設	2010年9月～	土木学会(四ツ谷)
8	○	-	○	○	○	土木技術者女性の会北海道地区	土木技術者女性の会北海道地区勉強会～土木技術分野の実務に係わる女性技術者の働き方について～	2010年9月13日(月)	寒地土木研究所 (札幌)
9	○	-	○	○	○	技術士会	全国大会	2010年9月25日(土)	四日市市市民会館別棟展示室
10	-	○	○	○	○	土木学会	第2回ダイバーシティ推進フォーラム(仮称)	2010年10月6日(水)午後	土木学会 講堂(四ツ谷)
11	○	-	○	○	○	土木学会	イブニングシアター	2010年10月20日(水)・11月24日(水)・1月26日(水)のいずれか一日	土木学会講堂(四ツ谷)
12	-	○	○	○	○	土木技術者女性の会関東地区 (土木学会と共催)	女子学生との交流会	2010年12月4日(土)	未定
13	-	-	○	○	○	日本エルガード協会	パネルディスカッション(パネル)	2011年4月20日	住友会館(六本木)

参考までに、2010年8月31日現在までに実施したイベントの状況をご報告いたします。

【No.1 土木技術者女性の会 関東地区現場見学会】



【No.3 (独)国立女性教育会館 女子中高生夏の学校 2010～科学・技術者のたまごたちへ～】



【No.4 地盤工学会 地盤工学研究発表会】



【No.5 埼玉県建設技術協会 技術講演会】



▶ イベントセット

第30回記念総会記念WGにて、イベントセットとして「名刺」「会の紹介パネル」「顔がいっぱいパネル」、「アンケート調査票」を新たに作成しています。

この他に、「Civil Engineerへの扉」、「会の紹介チラシ」を活用することができます。

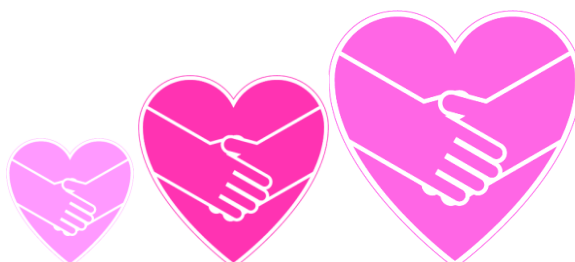
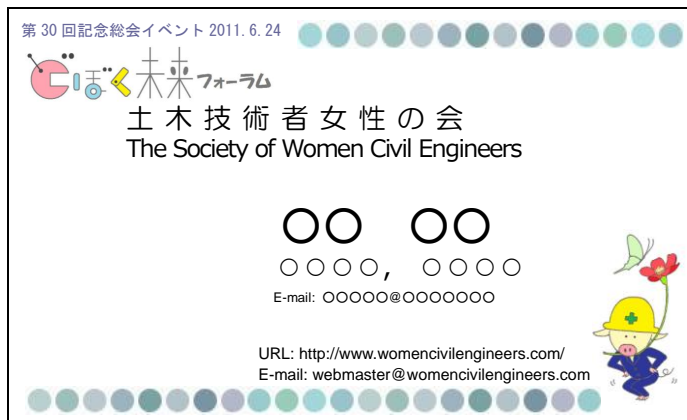
事前に WG リーダーの須田までご連絡いただきイベント登録をした場合には、名刺以外のイベントセットについて下記の対応をいたします。

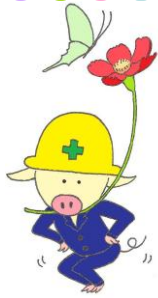
- ・ A0 版または A1 版ポスターの貸し出し
- ・ 「Civil Engineer への扉」、「会の紹介チラシ」、「アンケート調査票」の必要部数の提供

ご登録いただいた場合は、イベント実施後に、成果内容・今後へのフィードバック事項など簡単なご報告をお願いいたします。

第30回記念総会イベント 名刺

女性の会HP会員のページにアップしました。
公式なイベントなどで、添付の名刺をご使用ください。
レイアウトは自由に変えていただいて結構です。





土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers
- Since 1983 -



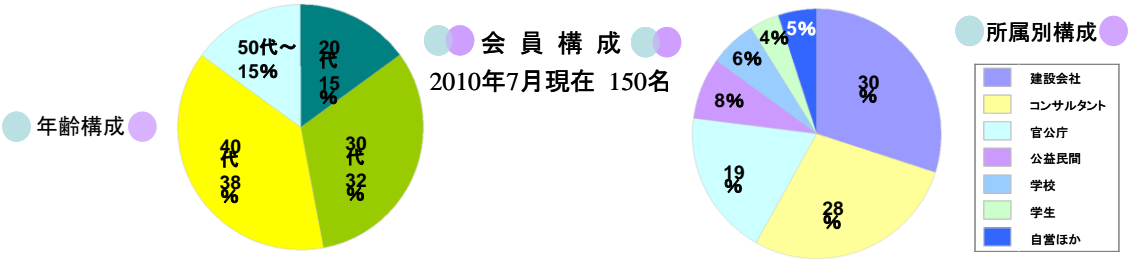
土木技術者女性の会は、土木学会誌（1982（昭和57）年9月号）の誌面で企画された「女性土木技術者の座談会」における「日本各地で孤軍奮闘している女性の土木技術者が情報交換できるような会を...」との呼びかけをきっかけに、1983（昭和58）年1月に約30名で発足しました。



● 土木学会誌2002年11月号表紙・裏表紙より

● 土木技術者女性の会発行「Civil Engineerへの扉 2006年版」より

現在では、全国各地に150名の会員がいる任意団体として、他の機関と連携しつつ多様な活動を進めています。会員は全国4地区のいずれかに所属し、地区活動に参加します。また役員会及び役員会を補佐する事務局により会全体の活動方針などを企画・提案しています。



第30回記念総会イベント **土木未来フォーラム** 2011.6.24（金）開催予定

土木技術者女性の会 URL:<https://womencivilengineers.com/> お問い合わせ先:webmaster@womencivilengineers.com



第 30 回記念総会用パネル



土木技術女性の会 第30回記念総会プレイベント

H22年度 北海道地区勉強会

～土木技術分野の実務に係わる女性技術者の働き方について～

土木技術女性の会
北海道地区世話役
佐藤 厚子

当会の活動につきましては、日ごろから特段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、独立行政法人 土木研究所 寒地土木研究所では、中央大学よりインターンシップの受入を行い、そのカリキュラムの一環として、土木技術分野の実務に係わる女性技術者の経験談を聞く機会を設けたいと考えております。

せっかくの機会ですので、多くの土木技術者をめざす女子学生にも参加いただき、今後の参考にしていただければと思い、第30回土木技術女性の会記念総会のプレイベントとして、「平成22年度北海道地区勉強会～土木技術分野の実務に係わる女性技術者の働き方について～」を開催いたしたいと存じます。つきましては、専門的な見地や経験からのご講義を賜りたく、下記によりご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

記

- | | |
|-------|---|
| 1 日 時 | 平成22年9月13日(月) 13時30分～ |
| 2 場 所 | 寒地土木研究所 管理棟 講堂 A |
| 3 内 容 | 土木技術分野の実務に係わる女性技術者の働き方について
(1) 実務事例紹介 (コンサルタント会社勤務)
(2) 実務事例紹介 (建設会社勤務)
(3) 実務事例紹介 (官庁)
(4) ディスカッション・意見交換 |

※会終了後、ささやかながら懇親会を設けたいと考えています。上記、参加申込の際、懇親会への参加につきましても回答いただければと思います。

- ・ 申 込 方 法 : e-mail にて下記連絡先までお申し込みください。
- ・ 申 込 期 限 : 9月6日(月)まで。
- ・ 連 絡 先 : 独立行政法人土木研究所寒地土木研究所寒地地盤チーム 佐藤 厚子
e-mail : atsuko@ceri.go.jp (←申込先)
(〒062-8602 札幌市豊平区平岸1条3丁目1番34号
TEL : 011-841-1709 (内線363) FAX : 011-841-7333)

メールニュースより



2010年2月号

■リレーエッセイ：岩本 理恵（いわもと りえ）

「私の好きな場所」

ここ6年ほど毎年行っている場所がある。栃木県足利市にあるワイナリーだ。ここのワイナリーでは、毎年11月に収穫祭というお祭りがある。この日は収穫後のブドウ畑を会場にして、ジャズやクラシック等の生演奏を聞きながら、ワインを飲んで過ごすのだ。入場するにはハーベストキット（ワイン1本、記念のグラスとバッジのセット）を購入するだけ。



特別ワイン好きというわけではないが、斜面のぶどう畑にシートを敷いて、転げ落ちないように気をつけながら、おいしいものを飲んで食べて、おしゃべりしたり、踊ったり、時にはお昼寝したり、気ままに過ごせる雰囲気が大好きなのだ。

昨年の収穫祭は参加6回目にして初めて雨が降った。はじめは小雨程度だったが、しだいに本降りになり、一時晴れ間が見えてまた降り出すという変な天気だ。演奏をするステージにはしっかりとテントが張られているが、客席となるブドウ畑では、各自で工夫して雨をしのいでいた。私たちは、畑に張られているワイヤーにシートを引っ掛けて屋根代わりにした。特別道具を用意しているわけではなかったので、隣のグループの人たちと協力しながら、ビニール袋を使ってなんとか縛って固定した。さあこれでゆっくりできる、なかなか快適(^)と思っていたら、シートの上に水が溜まってきた。「水落ちまーす」と声をかけながら、周りの人にかからないよう注意して落とすつもりが・・・思いっきりかけてしまった(-_-;)。でもカッパを着ていて被害が少なかったので笑って許してもらえた。

傘をさしながら大変そうにワインを飲んでいるおばさま2人組がいらっしゃったので、私たちと一緒にどうですかとお誘いした。2人は友人で今回が初めての参加だったそうだ。旦那さんはお留守番とのこと。隣のグループの人はなんと1回目から参加していた（今回は26回目）。と話しながら、手持ちの料理の交換をしたり、ちょっとした交流が始まる。祭りの中盤になると、ほろ酔い加減になってきて、音楽のリズムに合わせて踊りだす人がでてくる。周りもつられてリズムに乗ったり、手拍子したりとなんとか会場全体が一体となったように感じる。帰り際には、たまにはこんな日もあっていいよね、また来年！と声を掛け合った。やっぱり今年も参加するんだろうな。



2010年4月号

■リレーエッセイ：須田 久美子（すだ くみこ）

「現場の効用」

橋梁工事の現場に出てからもうすぐ丸三年になる。「なかなか出してもらえなくて…」と嘆いていた頃が懐かしい。現場は高尾山の麓にあり、ケーブルカーの発着で賑わっている高尾山口からはちょうど山の反対側になる。のんびりした良い所である。自宅と同じ東京都八王子市内にあり、車で30分と、今までで最も近い職場である。

現場配属があまりにも嬉しかったので、実は、休みの日も旦那と連れ立って、現場の周りをうろうろしていた。現場見学に来ていただいた方にはお馴染みの小仏川沿いは、なかなか気分のいい散策コースである。ある日、ウスバシロチョウという蝶が飛んでいるのを旦那が発見した。私にはただの白いチョウにしか見えなかったのだが、飛び方が違うらしい。よく見ると羽が透き通っていて、優雅に飛んでいる。ちょうど工事用道路の栈橋の下に群舞していた。

傍から見れば、何の変哲もない草むらにカメラを抱えて嬉々として突入していく変なおじさんと、それを眺めて川原に座っているボーっとしたおばさんのコンビは不思議に映ったかもしれない。「小さな頃は昆虫博士で、蝶々が大好きだった」と義母にはしょっちゅう聞かされていたが、こんなに好きだとは思わなかった。銀婚式も過ぎたのに、知らないことがいっぱいだ。

何かに夢中になれるというのはこんなことなのかなとしみじみと思った。「お前さんがコンクリートの話をするのとおなじだろう。俺にはつままないけど、楽しそうに話すのを見てるのは面白いよ。」ナルホド。

それ以来、珍しい蝶を探しに高尾山一帯をくまなく歩き回った。仕事も高尾山、休みも高尾山、結局、一年中高尾山にいる。いい現場にめぐりあって感謝感激。

今年も、もうすぐ蝶々の季節がやってくる。ギフチョウにはじまり、ウスバシロチョウ、アサギマダラ、アカタテハ、テングチョウ、スミナガシ、ミヤマカラスアゲハ、オオムラサキ。休みの日は蝶々おじさんと野次喜多道中に明け暮れている。





2010年6月号

■ リレーエッセイ：福山 貴子
(ふくやま たかこ)

「私の好きな時間」

このエッセイの依頼を受けてから早1週間。「私の好きな時間」、「私の好きな場所」、「私の好きな言葉」、何があるかな・・・と思いながら過ごしていましたが、いざ書こうと思うとなかなか思い



浮かばないものですね。これまでのエッセイをもう一度読み返しましたが、皆さん、いろんな形で好きな時間や好きな場所があって、それを大事にしている、素敵だなあと思いました。自分に、人に「素敵だなあ」と思ってもらえるようなものがあるのかどうか。。。以下、つたない文章ですが、お付き合い下さい。

田舎（徳島）から上京していつの間にか14年目、気楽な1人暮らしを続けている自分にとって、いちばん大事で大好きな時間は、友人たちと過ごす時間です。

私の場合は、友だちやその家族、またその友だち・・・といった風に友だちをたくさん集めて遊ぶのが大好きです。（もちろん、気心の知れた友人とのんびり映画に行ったりお買い物に行ったりも大好きです。）

みんなでワイワイやると、仕事や悩みごとを忘れてとても楽しい時間が過ごせます。友人たちも、最初はお互いにまったく面識がなくても、何度か集まっているうちにみんなが仲良くなってきます。それがうれしい。

春には、大花見宴会（花見シーズンの2週間くらいの間だけ、としまえんにお花見宴会プランというのがあって、事前に予約をすれば、桜の下の花見席を確保できます。座敷でコタツになっていて、鍋や七輪が用意してあって、食べ放題飲み放題で、大人5500円！場所取りや買出しの手間を考えると、とても楽！お近くの方はオススメです！）が恒例になりました。今年は7回目でした。最初は、別の友人とお花見をやろうという話がたまたま同じ日に重なって、だったらみんなで一緒にやろうよということで始まりました。最初の年は10人くらいでしたが、多い年は20人を超え、最近では、友人の子供たちも参加するようになりました。

さらに今年のGWには、大沖繩旅行を企画・開催・大成功しました。仕事の都合がついた友人たちだけでしたが、大人8人、子供2人の大旅行でした。貸し別荘を借りてみんなで泊まって、夜は毎晩バーベキューや花火、お風呂の順番決めのトランプ大会。大人の修学旅行みたいでとても楽しめました。この企画も恒例にしてよと早くもオファーがきています。

そして明日（6/12）は今年2回目の大潮干狩り大会（笑）。来週には梅雨入りしそうということで、梅雨入り前にアウトドアを満喫してこようと思います。

GOAL



土木がすき!!! ④

安心・安全な社会基盤の構築へ向けて

「土木技術者女性の会」に所属する女性土木技術者が、職業選択を模索中の女子中高生へ向けて、土木の仕事の面白さ、土木にこだわって仕事を続けている理由などを自分の体験に基づいて、毎月12回交代で執筆します。



桑野 玲子
東京大学生産技術研究所

1. 私の仕事

現在、地盤や土構造物の安全性や長期耐久性、土砂災害の防止や対策に関する調査や研究に携わっています。現実の様々な問題を克服するために、研究室のメンバーと協同して現象の解明を目指します。試行錯誤を繰り返しながら実験を計画・実施し、未知の領域に踏み込んでいくのは何より楽しい作業です。国・自治体や企業との情報交換や連携が不可欠で、研究成果が実務に反映されやすく、研究の社会的効果や意義を強く意識できるのも、醍醐味のひとつです。研究室の主要メンバーである大学院生は、アジア諸国からの留学生が大半を占め、様々な国の人達が日々和気藹々と研究を進めています。

2. 土木にこだわる理由

土木工学・地盤工学を専攻したのは、科学技術が高度に発達した現代でもなお、毎年のように自然災害で被害をうける状況に、何らかの形で貢献したいと思ったのがきっかけです。社会に出てからは、建設会社、海外留学、公的研究機関、大学と、様々な職場や立場を変えながら仕事を続けてきました。あちこち転々としたことは必ずしも意図していたわけではなく、自己実現の欲求、個人的事情、職場の状況、タイミングや運、など様々な要素が関連しています。結果的に、多くの人々と一緒に仕事をする機会を得て、視野や興味の対象が広がり、私のキャリアを豊かにしてくれました。

3. キャリアメイクのポイント

土木技術者として成長するのに無駄な経験はありません。大きなプロジェクトになるほど各

人の役割は細分化され、目の前の仕事が単調に思える時もあるかもしれませんが、自分の仕事の意義を理解してやりがいを感じながら取り組んで欲しいと思います。一方で、仕事を続けていくには、仕事と個人生活のバランスを保ち心身ともに健康である事がとても大切です。全てを完璧にこなそうとがんばりすぎず、困ったときには周りに助けを求め、仕事上の責任や諸事は優先順位をつけできるだけ効率的にこなす、やりたいことは時間を作って積極的に楽しむ、何も犠牲にせず、でも無理もしない、というふうには心身のバランスを保つ工夫も必要です。

4. 女子学生のみなさんへ

土木は、人々の生活基盤を支え命を守る、誇りを持てる仕事です。その分野は多様で、貴女の可能性を広げられる場がきっと見つかるはずです。女性の少ない理工系分野の共通の問題の一つとして、“ロールモデルの不在”がよく言われますが、個人生活の犠牲はやむなしとし仕事に全力投球してキャリアを積み上げていく従来型のロールモデルだけではなく、貴女自身が新しいロールモデルになることを望みます。

仕事、家庭、地域社会、個人生活等の様々な役割や立場を持つ中でどのようにそれらのバランスを取り自己実現を達成していくかは人それぞれです。長いキャリアの中で、各人にとっての理想や優先順位は、置かれた環境や年齢によって変わっていくのが当然ですし、生活や仕事のスタイル、価値観も多様で、定型のキャリアパスはありません。思うようにいかない事も多いかもしれませんが、自分の可能性を信じて、前向きに柔軟な選択をして下さい。



GOAL



土木が好き!!! ⑤

「仕事は有料道路の管理」

「土木技術者女性の会」に所属する女性土木技術者が、職業選択を模索中の女子中高生へ向けて、土木の面白さ、土木にこだわって仕事を続けている理由などを自分の体験に基づいて、毎月12回交代で執筆します。



正木 啓子
大阪府道路公社理事長

私の仕事

「勤務先はどちら?」、「大阪府道路公社です」、「あー、名神とか湾岸線とか管理しているところですよね」、「えーっ、何アホなこと言うてますねん!名神はNEXCOさん、湾岸線は阪神高速道路株式会社さん」。

この会話、意外とあるのです。大阪府道路公社は地方道路公社法に基づき設立されている法人ですが、知名度はイマイチ。あるいは、名前は知っていてもNEXCOなどの高速道路会社と混同するなど、具体的にどんな団体かをご存じない方もいらっしゃるようです。

有料道路の管理

したがって、ここはまず業務概要の説明から。大阪府道路公社の有料道路事業は、道路整備特別措置法などに基づき、府の出資金や国の貸付金、銀行などからの借入金などを使い緊急に整備が必要な道路を短期間で整備し、その費用を完成後の通行料金で返済していくというスキームで、烏飼仁和寺大橋、堺泉北、第二阪奈、南阪奈、箕面グリーンロードの計5路線を管理運営しています。残念ながら、当公社の経営は、これまで利用交通量が必ずしも増加傾向になく難しい運営をしていますが、公社路線沿線の観光施設と一体になってPRを行うなど日々利用促進に努めています。

キャリアメイクのポイント

では、有料道路の仕事って、料金収入と借金返済の計算をしているだけ? いえいえ、とんでもない! 先に述べた5本の道路のうち2本は5

kmを越える長大トンネル。それらの維持管理には莫大な費用がかかるだけでなく、業務を外部委託するにしてもそれには将来を見通した技術的判断が要求されます。施設は造って終わりではなく、将来にわたり良好な状態を維持するためには技術力と知見を持った人材による不断的努力が必要です。設備は昨日よりも今日、今日よりも明日の方が確実に古くなりますからね。

委託も含めた本年度の公社業務は、料金徴収、ETC設備の管理、交通管制、トンネル設備維持管理(換気や照明)、路面管理、耐震補強、橋梁塗装、雪氷対策、防災訓練など多岐にわたります。したがって、職員も、事務職、土木職、電気職、機械職の混成部隊で業務に当たっています。

女子学生のみなさんへ

かく言う私は、40年ほど前、大学と大学院で土木工学を専攻。当時「土木技術者[シビルエンジニア]の仕事は、軍事技術の対極にあつて日常の市民(シビル)生活を支え、システム・機械・建築・化学など電気を除くあらゆる技術を包括するもの」と教えを受けました。例え全国の大学から「土木工学科」の名称が消えても、市民(シビル)生活の安全と利便を確保する精神と社会基盤施設[インフラストラクチャー]にかかわる仕事は変わりません。当公社の路線でも交通量は路線や曜日によって毎日増減しますが、救急車両は日に何台も通ります。長大トンネル開通で短くなった数分の時間距離が人の命や財産を救い、また利便性向上は地域の活性化にも役立っています。そう考えるともっと安全で快適な道路を!と心が引き締まります。やりがいのある仕事ですよ。



GOAL



土木が好き!!! ⑥

「まちづくりのパートナーとして」

「土木技術者女性の会」に所属する女性土木技術者が、職業選択を模索中の女子中高生へ向けて、土木の面白さ、土木にこだわって仕事を続けている理由などを自分の体験に基づいて、毎月12回交代で執筆します。



松本 香澄
東京都都市整備局
再開発事務所

私の仕事

私は、現在、東京都庁で、再開発事業にかかわる仕事をしています。入都して以来、区画整理や水道の需要予測等幅広い業務を担当してきました。

地方公務員の仕事は、横割りにすると計画系、建設系、維持管理系に分類され、縦割りにすると、道路・橋梁（トンネル等含）系、港湾施設系、上下水道系、都市計画系、その他（公園等）に分類されると考えます。よく考えれば、すべてが、まちづくりに必要な分野。どの分野を経験しても無駄はない、と信じている次第です。

公務員の役割の変革が叫ばれる中、役所の中でも、インハウスエンジニアのあり方について議論されています。専門分野を持ち、さらに深く追求することも、また、幅広く都政を見る眼を養い、住民に有益な行政サービスを実現することも、今の都庁職員に求められている姿だと感じています。

私自身は、首都公務員の一人として、幅広い分野の中でも「住民に愛される街づくりのお手伝いをしたい」と思い、住民にとっての「まちづくりのパートナー」として必要な知識を持ち実践したい、と考えています。

土木にこだわる理由

実は、私は土木工学科出身ではありません。しかし、街づくりにかかわる仕事がしたいと公務員を志したときに、職種分類が限られ、「土木職」が最適と紹介されました。そこで、大学では土木の講座（構造、水理、土質等）の単位をとり、公務員試験に臨みました。

土木職で入都してから、知らなかった分野が、あれもこれも土木、という形で広がることになり、

驚いた記憶があります。土木職だからこそその醍醐味や、胸を張って土木職の首都公務員ですといえるだけの知識と教養を、実感を持って体得し、後輩に伝えていきたいと切に願っているところです。

キャリアメイクのポイント

私は、キャリアメイクと言えるほど、計画的に人生を歩んできたわけではありません。ただ、自分のつたない経験で思うのは、子育てや介護、体調不良等、予想外の事態が発生した場合でも、何らかの形で、自分のプラスになるように考えることが大事ではないか、ということです。これまで「もうだめだ」「とても仕事を続けられない」と思ったことが多々ありましたが、「もうちょっとだけがんばってみようか」とぼちぼちやって来てすでに20余年。人生は人それぞれ、信念さえあれば、何歳からでもやり直しはきくと信じていますし、私自身これからも、キャリアメイクの模索は続いていきます。それもまた人生の妙味なのでしょう。

女子学生のみなさんへ

様々な土木イベントで、前向きな女子学生の方々にお会いする機会も増えてきました。土木の業界も、先輩方が道を切り開いてくださったおかげで、以前に比べ、女性にも活躍の場がかなり増えてきたように思います。ぜひ、今のビュアな想いを大切に、信念を持って仕事に取り組める社会人に育つことを希望します。

特に公務員は「住民のために」という言葉が頭につく仕事です。あなたのその素敵な想いを、土木の知識を、まちに住む方々のために有効活用してもらえることを心から期待しています。

GOAL



土木が好き!!! ⑦

「シビルで働き続ける」

「土木技術者女性の会」に所属する女性土木技術者が、職業選択を模索中の女子中・高生へ向けて、土木の面白さ、土木にこだわって仕事を続けている理由などを自分の体験に基づいて、毎月12回交代で執筆します。



岩熊 まき

(社)日本技術士会登録グループ
技術者を目指す女子学生を
支援する会 (WPETF) 代表

私の仕事

私は建設コンサルタントで環境調査・計測が専門の技術者として働いてきました。卒業当時は公害が深刻な社会問題となっており、河川の管理のために環境調査関連事業を開始した会社に、水質分析担当の専門職として入社しました。新人は公共事業に関連した調査の一部の手伝いをするに過ぎませんが、新しい部署への配属は一方でチャンスでした。マニュアルや手順書がそれほどに整備されていなかったため、海外を含めた文献や他分野のマニュアルなどを参考に、自部署で実施可能な方法や独自の方法を試す幸運にも恵まれました。その後は建設コンサルタント技術者として社会基盤の整備との視点をもち実務経験を重ねてきました。河川や湖の水質保全からは、公害や計量法の視点とは異なった様々な調査方法によって水環境の評価へのアプローチが求められ、多工程で労力やコストのかかる化学分析から、統一的な評価を求め簡便性の高い代替指標の検討や、河川・湖の水質汚濁機構説明、水質保全対策などのための調査・解析の仕事をしました。20代後半から30代半ばのこの時期は、いちばん勉強も仕事もしました。この時の一連の仕事をベースに技術士に挑戦、32歳で合格し、しばらくして管理職にもなりました。次には新しいテーマの仕事で、下水汚泥の有効利用に関する技術的・経済的調査、建設分野へのバイオテクノロジー応用技術開発等で、汚泥からのバイオエタノールの研究、地球環境に関する技術調査など先駆けて行いました。

建設コンサルタントへの誘い

国民生活を支える国づくりの基盤を整備する仕事の中で、建設コンサルタントは公共事業の計画事前調査を主に行う専門性の高い仕事として、様々な建設プロジェクトの企画・調査・設計・施工・監理などの技術サービスを提供します。産業分類では専門・技術サービス業に含まれます。国づくりの基盤整備を考えるわけですから、土木工学だけでなく、環境、生物、情報、経済など多様な専門家による多くの知恵が求められる仕事です。

将来は、使用者（住民など）に直接説明する役割も担うでしょう。

女子学生のみなさんへ

女性の人生は多様で、これからは働き方にたくさんの選択ができる時代になります。仕事、子育て、趣味を楽しみ、ボランティアも楽しむ、自分にあった年齢の舞台を考えましょう。贅沢で欲張り（ぜいたくでぐざり）で困難、といわれるかもしれませんが、目標は高く、仕事に必要な資格に挑戦し、オーソリティーになりましょう。資格は自身のキャリア形成のうえで、周囲に自分を認めさせ、自分自身の働く環境を変える効果も有ります。一方で、様々なネットワークに参加しその出会いを大切にしましょう。初めは参加するだけでもいつの間にか溶け込んで、成長している自分を発見します。私自身も、結婚、出産・育児、昇進も自分のライフステージの中でバランスをとり、ネットワークを大切にし、仕事では得られないことをたくさん学んできました。

GOAL



土木が好き!!! ⑧

「大切なのは コミュニケーション力」

「土木技術者女性の会」に所属する女性土木技術者が、職業選択を模索中の女子中・高生へ向けて、土木の面白さ、土木にこだわって仕事を続けている理由などを自分の体験に基づいて、毎月12回交代で執筆します。



大原 真由美
前田建設工業㈱
関西支店 土木部

私の仕事

総合建設業（ゼネコン）で現場施工管理をしています。入社して10年になりますが、これまでに下水施設・港湾工事・地下鉄・トンネル等様々な現場に配属となりました。主な仕事内容は施工・安全・品質・工程にかかわる計画と、計画どおりに工事が進むよう現場に出て管理することです。

建設現場では多くの作業を同時に進めるため、作業の内容を正確にイメージしながら安全にかつスムーズに進める方法を考えることが必要です。これは過去に培った経験や柔軟な発想力が試されるため、現場監督の腕の見せどころです。ジグソーパズルのように完成図を思い浮かべながら1つ1つ組み立てていきます。しかし、現場は日々変化するので、思いどおり進まないことも多々あります。そんなときには上司や協力会社の職長と相談しながら新しい作業の方法を見つけ出し、またパズルを組み直します。「本当にこれで正しいのか?」「これで工期内に終わるのか?」不安になることもありますが、現場にはたくさんの人が、『よい構造物を造ろう!』という想いで集まっているので、必ず良い方法が見つかります。日ごろから、何でも話しやすい雰囲気作りをすることも大切な仕事だと思っています。

土木にこだわる理由

私が土木に興味をもったきっかけは「阪神淡路大震災」です。多くの犠牲者を出し、神戸の街を一撃で崩壊させた大地震でしたが、その後の復興は目を見張るスピードでした。鉄道の開通、道路の復旧…日に日に明るい話題が増え、「これは誰の力なのか?」と考えたときに『土木』という言

葉を知りました。当時私は高校生で、将来の進路を決め兼ねていましたが、これをきっかけに『土木』の道を進もうと決め、大学で土木コースを専攻しました。就職活動のときには施工の最前線で実際にものづくりをしたい!という思いを強く持ち、現場に立つことにこだわりました。

私が大切にしていること

1 現場の工期はだいたい2〜5年程度、短い工事は1年未満ということも珍しくありません。私は10年間で7つの現場に携わりました。そのたびに新しい出会いがあり、新しい挑戦が始まります。多くの人と携わる仕事ですから、まず大切なことはコミュニケーション力です。わからないことは素直に聞いて教えてもらう。逆に厳しく指導することもあります。自分の意見は言葉に出してきちり人に伝える。これには信頼関係の積み重ねが必要です。

それから、何事も前向きに考えること。現場ではその場の状況で判断しなければいけないことがたくさんあります。「そんなことできるか!」と職人からそっぽを向かれたり、「さっきの判断は失敗したな・・・」と思いついたり。大切なことは次に同じ失敗をしないことだと思います。

最後に仕事への想い。自分で選んだ道なので、誇りを持って1つ1つやり遂げようと考えています。

女子学生のみなさんへ

近年、現場の環境も徐々に整い、弊社でも「現場をやりたい」と強い想いを持った女性の現場監督が毎年誕生しています。まだ狭い社会ですが、これを切り開くのはあなたの想いです。



土木が好き!!! ⑨

「人々の命を守る仕事をしています」

「土木技術者女性の会」に所属する女性土木技術者が、職業選択を模索中の女子中・高生へ向けて、土木の面白さ、土木にこだわって仕事を続けている理由などを自分の体験に基づいて、毎月12回交代で執筆します。



中西 利美

中日本建設コンサルタント(株)

私の仕事

私は土木工学の分野に女性という文字がほとんど皆無に近い1971年に東北学院大学土木工学科を卒業し、名古屋に本社のある中日本建設コンサルタント(株)に初めての女性技術職として入社しました。会社での配属は「女性には汚いこと、危険なことをさせるわけに行かない」との理由より水道設計部署でした。上下水道、屎尿、廃水、河川等与えられた仕事は仲間と協力して何でもトライしました。その結果女性でも汚いこと危険なことでもこなせるという実績をつくり上層部の意識改革に役立ったと思います。入社9年目に会社が必要としていた上下水道部門で技術士を取得してからは上水道に専念することになりました。小雨傾向の中の水源確保(井戸開発、ダム設置場所選定、表流水の水利権取得)に始まり年々厳しさを増す水質悪化と住民ニーズの向上に対する浄水・送水・配水施設の計画・設計・更新、地震対策など人々の命を守る仕事に従事しています。

土木にこだわる理由

“土木”という言葉は、ニュースで土木作業員風、公共事業、談合とか悪者呼ばわりで使用されますが、土木をこよなく愛している私としては非常に残念で仕方がありません。土木は自然の驚異から人々の命・暮らしを守り、生活を豊かにしてきました。箱物が自然を破壊するといわれますが、我々土木に従事する技術者は、日々反省と事象の変化に対応し環境に優しい技術の構築を先輩から受け継ぎ後輩へ継承し、子々孫々豊かな環境と暮らしを享受できるよう頑張っています。

土木は、インフラのコンダクターとしての役割を果たしています。今、土木工学という名称が学生を呼び込めないという理由で消えつつありま

す。土木工学科がイギリスで19世紀に他の学科に先駆けてきたことをご存じでしょうか。座み落とした構造物は子供を育てるように愛情をもって一生面倒見ていかなければなりません。愛情が注がれた構造物は悪さをしませんし不快感も与えません。多くを語らず黒子に徹した土木技術者の働きを、今後恩返しとして正しく理解していただけるよう人々に伝えていきたいと思っています。

キャリアメイクのポイント

会社には組織があります。その組織の中で個人が認められて仕事をするには会社が要求する最低の資格・人格が必要となります。私は、自分の居場所を確保するために何が必要かと考えパスポートとしての技術士を取得しました。猛烈に忙しく残業づけの生活ですがコンサルタントとしてユーザーとコミュニケーションするうえで、技術は基より笑顔、礼儀、趣味など人格形成が重要です。人が技術を駆使して物を作るのですから、「井の中の蛙」になることのないように、学協会、技術士会、NPOなどに所属して、積極的に会合に参加し異業種の人々も含めたネットワーク作りがいろんな面で役に立ちます。

女子学生のみなさんへ

私は残業づけの中でも子供がいます。女子学生から「結婚して子供ができて仕事が続けられるでしょうか？」と聞かれます。土木に従事している男性は一生懸命仕事をする人にとっても優しいです。まずは人を愛し人から愛される人格を磨くこと。“為せば成る”です。夫、子供が自分を育ててくれます。現在私は定年を迎え再雇用で仕事を継続中です。土木は広範囲で奥が深いです。一緒に人々の命を守る仕事をしませんか待っています。



GOAL



土木が好き!!! ⑩

「作らないのも土木の仕事」

「土木技術者女性の会」に所属する女性土木技術者が、職業選択を模索中の女子中・高生へ向けて、土木の面白さ、土木にこだわって仕事を続けている理由などを自分の体験に基づいて、毎月12回交代で執筆します。



山田 菊子

小樽商科大学

私の仕事

3年ほど前から、国立大学に附置された研究部門の研究員として働いています。それまでは、複数の民間のシンクタンクに研究職としてかかわってきました。現在は、技術を市民、社会に役立てるしぐみを考えることが仕事です。民間企業や行政と共同で実施する研究プロジェクトに、人間工学、情報工学などのバックグラウンドを持つ同僚と取り組んでいます。中でも施策をどう市民中心に立案し実現するか、というのが現在の私の研究テーマです。このような現在の私の仕事の醍醐味は、社会の動きと直接的に関わりながら、じっくりと座って考えることもできる点です。

土木にこだわる理由

土木系学科に進学することは、実はあまり大きな決断ではありませんでした。けれども学部、大学院で学ぶうちに、「作る、作らないという施策の判断をする」ことも重要だと考えるようになり、国や地方自治体などからの受託により計画立案を支援する、計画系の調査・研究業務に興味を持ちました。シンクタンクでは、「土木の計画」から、「行政の関連する様々な計画」に業務の範囲が広がり、ついには、「しぐみ」に関心が展開していきました。そもそもの取りかかりが「土木」であったこと、「土木」が、「しぐみ」である社会の基盤の一つの分野を対象としていることから、土木が私の興味の範囲から外れることはありません。というのが、こだわる理由の一つ。

そしてもう一つは、土木+女性という分類に当てはまる方々です。私がみなさんぐらいの学生だった20年前には、土木+女性に当てはまる方々は

もっと少なかったのですが、そのおかげで、色々な先輩、仲間を知ることができました。20歳以降の私を育てたのが土木+女性という分類に当てはまる方々だったというのも、土木にこだわる理由です。

キャリアメイクのポイント

大学院を修了後、シンクタンク、フリーランス、大学と多様な環境で働きました。住む場所も、関西、関東、北海道と変遷しましたし、一緒に働く方の専門分野も、土木、経済、経営、人間工学、情報工学などとどんどん変わっていた私のキャリアメイクのポイントは、次の二つです。一つは、「自分の興味に敏感でいること」。すでにある枠組みに必要以上にとられることなく、自分が興味を持つか、どうしたいか、ということをもまずは考えるようにしてきました。その結果が現在の、土木とは少し離れた職場にいたことにあるのかもしれませんが。

そしてもう一つは「初めてのケースであることを恐れないこと」。大学、大学院、勤務先のほとんどで、「初めての女性」「初めての土木の出身」「初めての…」でした。「初めてのケース」であることは、周囲だけでなく、本人である私たちが戸惑うことが多くあります。しかし、多くのことは時間が解決してくれると信じて、あえて避けることはしませんでした。

女子学生のみなさんへ

土木の仕事は、他の仕事と同様に、誇りを持てる仕事です。そしてその範囲は、「土木」とは思えない分野にもひろがっています。土木の入り口を見かけたら、その広がりを想像しつつまわりを見渡し、誰かに声をかけてみてください。私たちがいます。一緒に、「初めてのケース」を堪能しましょう！一緒にできることを、楽しみにしています。

どぼく未来フォーラム：第30回記念総会イベント

「土木技術者女性の会」は、土木学会誌（1982（昭和57）年9月号）の誌面で企画された「女性土木技術者の座談会」をきっかけに、1983（昭和58）年1月に約30名で発足しました。

現在の会員数は約150名で、全国に4つの地区があります。地区ごとに見学会や勉強会、女子学生との交流会などの地区活動を行うほか、年に1度、全地区の会員が集まり総会を開催しています。また、他の機関と連携した多様な活動も行っています。右の写真は、7月31日に関東地区で実施した「首

都圏中央連絡自動車道 裏高尾橋」の見学会の様子です（左は昨年の見学会の様子）。裏高尾橋の見学は今年で3年目になり、橋の造られていく過程を初期の段階から見てきました。

来年、総会が第30回目となることから、総会前日に記念イベントとして『どぼく未来フォーラム』を開催します。これにあわせ、学協会や会のイベントの際にパネル展示を行うなど、プレイベントを実施中です。来年開催する『どぼく未来フォーラム』では、土木のこれまでとこれからについて討論会を行う予定です。一般の方にも参加していただけます。



どぼく未来フォーラム：第30回記念総会イベント

主 催：土木技術者女性の会

開催日：2011年6月24日（金）

<http://womencivilengineers.com>

編集後記

記録的な猛暑がつづくこの夏、

会誌「輪（りん）」が第50号を迎えました。

1983年9月の第1号発行以来‘肩肘張らず末永く’をモットーに
身近な幅広いテーマを取り上げた手作り感あふれる読み物として
内外に発信しつづけています。

歴代の編集長ならびに編集委員、寄稿して下さったみなさまに
心から感謝いたします。

あらためて、当会に期待するものは？と考えてみると
助け合い、励まし合い、ネットワークなどさまざまです。

時代は流れて、わたしたちをとりまく環境が変わっても
参加すると、きまって元気をもらえる「土木技術者女性の会」。

お互いの顔が見えるような交流の場として

これからも「輪」がつづきますように。

みなさまとともに、逞しさ、しなやかさ、美しさを追求しつつ！

ま、ぼちぼちいきましょうか、ね（笑）

北海道地区 田原さゆり（‘94年入会）

「輪」への投稿・ご意見は編集担当 佐藤厚子 へ、
その他のお問い合わせ、ご意見は、事務局まで、お願いします。
e-mail;webmaster@womencivilengineers.com

【事務局】

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-12
お茶の水センタービル3F
中日本建設コンサルタント株式会社
東京支社東京事務所技術部
笹尾圭哉子